

やまがた

元氣



農の風

NO.45

山形県東村山郡山辺町

ていていけー

やまがた

株式会社TTKエンジ山形

県内でがんばる農業者を紹介しています。今回は、異業種から参入し、ICTを活用した施設園芸で「わさび」を生産・販売する企業をご紹介します。



山辺町



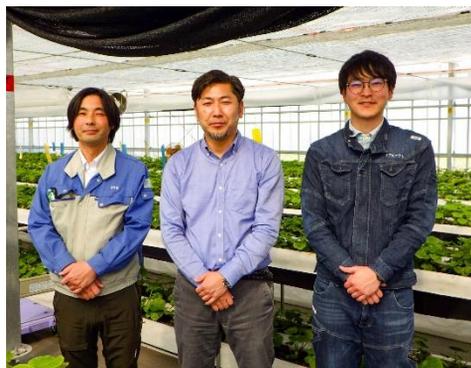
就農のきっかけをお聞かせください。



TTKグループ（本社：株式会社TTK、宮城県仙台市）は、これまで東北地方で情報通信設備の構築や保守を行ってきました。近年は「新しい事業への挑戦」として、社員の意見も取り入れながら初めて山形県に「アグリ事業部」を設立しました。

農業用地については、山辺町が募集した「未利用地利活用提案事業公募型プロポーザル」（複数の企業から企画書を募り、最も優れた提案を選ぶ方式）に応募し、採択されたことをきっかけに「TTK山辺農場」を開設しました。

栽培する作物には、日本食文化の広がり需要が高まっている「わさび」を選び、これまでに培ってきた情報通信技術を活かして、ICT（情報通信技術）を活用したスマート農業に取り組んでいます。ハウス内の温度や湿度などの環境データを常時監視・自動制御することで、効率的かつ安定した生産を目指しています。



(株)TTKエンジ山形 アグリ事業部のメンバー

左から、営業担当：柴崎浩二さん

取締役 営業部長（兼）アグリ事業部長：宮田晴視さん

栽培担当：福島充貴さん

TTKエンジ山形

ホームページ

<https://www.ttk-g.co.jp/group/yamagata/>

山辺わさびロゴ



就農してみているかがですか。



農業未経験の情報通信技術者らが「わさび」栽培に挑戦することになった訳ですが、土壌づくりから出荷まで初めての事ばかりで最初のうちは戸惑うことも多かったです。わさびは冷涼な環境を好むため夏場のハウス内の温度管理には特に苦労しました。遮熱塗料の塗布や外気導入などの対策を講じながら、試行錯誤の日々でした。苦労がある一方で、自ら育てるわさびが成長していく喜びや、消費者の「美味しい」という声を聞けることは通信建設業とは違ったやりがいとなっています。また、地元農家との情報交換や地域イベントへの参加を通して地域とのふれあいを深めるきっかけにもなりました。令和6年3月から「葉わさび」の収穫を始め、「山辺わさび」として山辺町を中心に県内の飲食店や直売所で販売を開始しているためPRしていきたいです。



施設内のわさび



今後の目標・将来展望をお聞かせください。



今後は、山辺町の飲食店や地元高校と連携して実施している「葉わさびレシピコンテスト」を継続し、『山辺わさび』の通年生産・販売を目指していきたいと考えています。地産地消の野菜として地域に根付かせるとともに、生徒の皆さんが考案したレシピを町内の飲食店で提供することも検討中です。

山辺町の農業や飲食業の発展に貢献し、地域の活性化の一助となることを目標としています。

コンテスト最優秀作
「葉わさび〜ぜ洋風焼売」

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231